警察庁
National Police Agency
警察庁事務官採用案内
2021

採用窓口

お問合せ先	所在地	電話番号	交通手段
警察庁 長官官房人事課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番2号	(03)3581-0314 (直通)	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線 「霞ヶ関駅」下車　徒歩1分　又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車　徒歩3分
北海道警察情報通信部 通信庶務課	札幌市中央区 北二条西7丁目	(011)251-0110 内線6032	JR「札幌駅」下車　徒歩15分
東北管区警察局 警務課	仙台市青葉区 本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎B棟15階	(022)221-7181 内線2622	市営地下鉄「勾当台公園駅」下車 徒歩2分
東京都警察情報通信部 通信庶務課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番1号	(03)3581-4321 内線60311	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」下車 徒歩3分　又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車　徒歩1分
関東管区警察局 警務課	さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎 2号館22階	(048)600-6000 内線2636	JR京浜東北線「さいたま新都心駅」下車 徒歩5分
中部管区警察局 警務課	名古屋市中区三の丸 2丁目1番1号 愛知県警察本部庁舎本館8階	(052)951-6000 内線2622	市営地下鉄名城線「市役所駅」下車 徒歩5分
近畿管区警察局 警務課	大阪市中央区谷町 2丁目1番17号 大阪第二法務合同庁舎7階	(06)6944-1234 内線2632	大阪メトロ谷町線「天満橋駅」下車 徒歩10分 又は 大阪メトロ谷町線、中央線「谷町四丁目駅」下車 徒歩10分
中国四国管区警察局 警務課	広島市中区上八丁堀6番30号 広島合同庁舎1号館5階	(082)228-6411 内線2632	JR広島駅からバスセンター経由バスにて 「合同庁舎前」バス停下車
四国警察支局 警務・監察課	高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館9階	(087)821-3111 内線2632	JR「高松駅」下車　徒歩3分
九州管区警察局 警務課	福岡市博多区東公園 7番7号 福岡県警察本部庁舎5階	(092)622-5000 内線2632	JR「吉塚駅」下車　徒歩5分 又は 市営地下鉄箱崎線「馬出九大病院前駅」下車 徒歩2分

警察庁
National Police Agency
警察庁事務官採用案内
2021

国家公務員採用一般職試験
（大卒程度・行政区分／高卒者・事務区分）

警察庁事務官について

警察庁事務官は、特に、人事、会計、給与・厚生、情報管理等の業務において、その中核となって活躍する存在であり、犯罪捜査等の警察権限の行使に関連する事務等を担当する警察庁警察官、警察独自の情報通信部門等を担当とする警察庁技官と一体となって、警察行政を担っています。

警察庁事務官は、警察庁本庁で採用される場合と各管区警察局又は東京都若しくは北海道警察情報通信部で採用される場合とがあります。

警察庁本庁で採用された場合は、警察庁内の各局部や附属機関に配属となるため、主に東京都内での勤務となりますが、地方機関等で勤務する場合もあります。

❶ 北海道警察情報通信部（札幌市）

❷ 東北管区警察局（仙台市）

管轄 | 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島

❸ 関東管区警察局（さいたま市）

管轄 | 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・新潟・山梨・長野・静岡

❹ 警察庁本庁

❺ 東京都警察情報通信部（東京都）

❻ 中部管区警察局（名古屋市）

管轄 | 富山・石川・福井・岐阜・愛知・三重

❼ 近畿管区警察局（大阪市）

管轄 | 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山

❽ 中国四国管区警察局（広島市）

管轄 | 鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知

❾ 四国警察支局（高松市）

管轄 | 徳島・香川・愛媛・高知

❿ 九州管区警察局（福岡市）

管轄 | 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

目　次

第１部　組織紹介

警察機構図 …… 4

第２部　警察庁本庁

活躍のフィールド …… 7
職員からのメッセージ …… 9
若手職員Ｑ＆Ａ …… 10
職員の一日 …… 11

第３部　管区警察局 東京都・北海道警察情報通信部

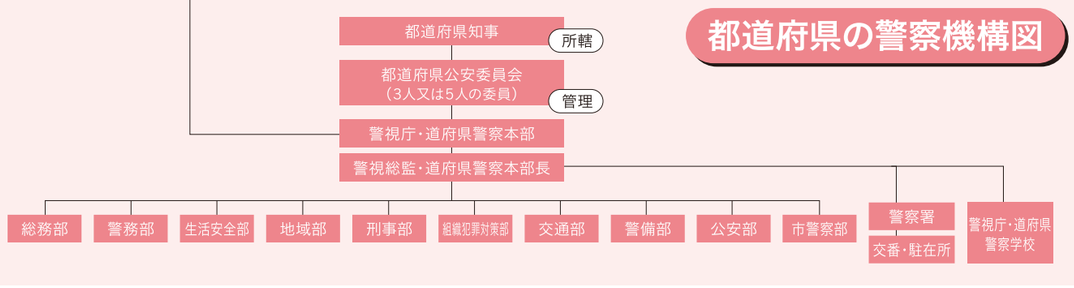
活躍のフィールド …… 13
職員からのメッセージ …… 15
若手職員Ｑ＆Ａ …… 16
職員の一日 …… 17

第４部　特集　ワークライフバランス

仕事と育児の両立のための支援制度 …… 18
勤務地等についてのＱ＆Ａ …… 19

国の警察機構図

都道府県の警察機構図



警察の沿革

我が国の警察は、明治７年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりました。その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やＩＣＰＯ（国際刑事警察機構）への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行っています。

都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任ぜられています。警察庁は、全国警察組織の中枢を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

警察庁とは

警察庁は、全国約30万人のマンパワーを擁する警察組織の中枢機関であり、各種施策の企画立案等に当たるとともに、警視庁や道府県警察の指揮監督等を行うことにより、個人の権利と自由を保護し、公共の安全と秩序を維持することを任務としています。

DNA型鑑定を通じて実感した自身の成長

犯罪鑑識官付　主任　平成23年入庁

私は現在、指掌紋、足痕跡、ＤＮＡ型等から捜査を科学的、合理的に進める犯罪鑑識全般に関する業務を担当している犯罪鑑識官に所属しており、その中で、ＤＮＡ型鑑定係として勤務しています。当係では、都道府県警察から嘱託を受け、被疑者から採取した口腔内細胞のＤＮＡ型鑑定を行い、データベースに登録する業務を行っています。

私の主な担当業務は、ＤＮＡ型鑑定人の補助及びＤＮＡ型鑑定で使用する機器の運用、メンテナンスです。機器の稼働中はどんなに小さなトラブルでも見逃さずに記録し、関係者に情報共有の上、意見交換を行うなどして、その改善に努めています。

配属当初はＤＮＡ型鑑定に関する知識も経験もなく、非常に不安でしたが、ＤＮＡ型鑑定に携わる先輩方から指導を受けながら、日々の業務に責任を持って取り組むうちに、専門的な知識を身に付けることができ、自分の成長を強く実感しています。

皆さんも私たちと共に、警察職員として成長を実感できる仕事をしてみませんか。

第一線の警察活動のために

暴力団対策課　主任　平成23年入庁

私が所属している暴力団対策課は、暴力団犯罪の取締りや暴力団排除活動に関する業務のほか、オレオレ詐欺をはじめとする特殊詐欺への対策に関する業務を行っています。

その中で私は、第一線の現場の特殊詐欺対策が一層効果的なものとなるよう、関係資料の作成や情報提供、関係システムの運用、資機材の整備等を担当しています。常に第一線に寄り添った対応を心掛けており、都道府県警察の方と意見交換をして業務についての要望等を聞いた上で、システムの改修や新たな資機材の整備等に当たっています。担当業務について、都道府県警察の方から労いの言葉をいただいたときには、喜びとともに自分の仕事に対する誇りを感じました。

現在の業務については、第一線に近い目線でその警察活動を直接支えられることにやりがいを感じており、上司や同僚に支えられながら、充実した毎日を過ごしています。

警察庁事務官の業務は多岐にわたり、どの業務も警察活動を支えるために不可欠なものばかりです。皆さんも日々喜びややりがいを感じられる職場で働いてみませんか。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

警察行政を担う一員としてのやりがいを感じながら

組織犯罪対策企画課　主任　平成21年入庁

皆さんの安全で平穏な日常生活を脅かす暴力団や国際犯罪組織等の壊滅・弱体化を図るため、これらの組織に関する情報の集約・分析を行い、戦略的な組織犯罪対策の企画・立案等の業務を担っているのが、私が所属する組織犯罪対策企画課です。

その中で私は、国会対応や勤務時間管理、幹部のスケジュール管理等の庶務業務を担当しています。庶務業務では、他所属の職員と連絡を取り合うことが多いため、庶務係の雰囲気がその所属のイメージに繋がることを意識して、常に明るく対応するよう心掛けています。

皆さんの中には、警察組織と聞くと、厳しくて堅苦しいイメージを持っている方も多いと思います。私自身も警察庁に入庁するまではそうでしたが、実際には上司や同僚は明るくて優しい方が多く、良い意味で予想を裏切られました。また、警察庁では、全国の警察職員と一緒に働くことができ、全国レベルの仕事に携わっているというやりがいを強く感じることができます。

警察庁事務官の仕事は、庶務業務だけでなく非常に多岐にわたっており、誇りや使命感を感じる仕事にきっと出会えるはずです。是非、警察庁で私たちと一緒に仕事をしてみませんか。

陰で支える役割の重要性

刑事企画課　係員　平成29年入庁

私は、刑事局幹部の秘書として、来客対応や決裁の受付、スケジュール調整等、幹部をサポートする業務を担当しています。

こうした業務は、多忙な幹部の予定を把握した上で、状況に応じた臨機応変な対応が求められることとなります。そのため、秘書は常に周囲の状況を把握し、どう動くべきなのかを考えなければなりません。また、担当する幹部により、求められるサポートのスタイルが異なるのも、秘書業務の特徴です。

私自身、今は何を最優先に動くべきなのか考えながら、毎日を過ごしています。ときには、柔軟な対応ができずに思い悩むこともありますが、人と接する機会が多い業務ですので、人の役に立ったり、感謝を伝えられたりしたときには、大きなやりがいを感じます。

警察庁事務官は、縁の下の力持ちとして、警察活動を陰で支える重要な役割を担っています。また、警察庁では、日本全国の警察職員と共に仕事をすることができ、警察組織の一体感を感じることができます。皆さんとこの警察庁で共に成長しながら働ける日を楽しみにしています。

会計課装備室長

瀬戸口　浩一　Setoguchi Koichi

経　歴

昭和58年	入庁	平成27年３月	警察庁会計課課長補佐
平成19年３月	中部管区警察局指導官	平成31年３月	関東管区警察局会計課長
平成21年４月	警察庁会計課監査専門官	令和　2年３月	警察庁会計課工場長
平成23年３月	沖縄県警察本部会計課長	令和　3年２月	現職
平成25年３月	警察庁会計課会計監査官		

国民の安全と安心の確保のために

現在、私が勤務する警察庁会計課装備室は、第一線で活動する警察官が使用する警察装備品、例えば、パトロールや交通取締りを行っているパトカーや白バイ等の警察車両、被災者や遭難者の救助・捜索活動で活躍するヘリコプターや警察用船舶、犯人の検挙やテロ対策のための装備資機材を全国警察に配備する業務を担当しています。また、科学技術の進歩や社会情勢の変化に対応した、より充実した装備資機材の開発や改善にも取り組んでいます。

警察装備品には、使用する場面や環境に応じた性能や耐久性が求められます。また、性能等が優れているだけでなく、使いやすいものでなければなりません。私たち装備室員は、お互いにアイデアを出し合い、市場調査等による情報収集や試作品の性能試験を行うなどして、現場からの要望に対応した警察装備品の配備に努めています。関係者と何度も検討を重ねて企画案を練り上げ、企画案の部内承認、予算要求、製品の契約、納入検査といった幾重ものステップを踏んで、苦労した末にようやく現場に配備された装備品を目にしたときの感慨は、正に装備室員でしか味わえない醍醐味といえます。

私は、警察庁に採用されて以来、主に会計の分野で、警察庁のほか、管区警察局や県警察本部において勤務する機会に恵まれました。管区警察局や県警察本部では、警察署、機動隊、警察学校、信号機等の施設の現状や、現場の警察官の声を間近で聞く機会が多くあり、老朽化した施設の建替えや装備資機材の更新に必要となる予算の重要性、現場に寄り添う大切さを痛感するとともに、より現場に近いところで治安維持の一翼を担うこともできました。

私たち警察庁事務官は、犯罪の未然防止、犯人の検挙、災害救助等、国民の安全と安心を守る最前線で活動する警察官を支えるため、多種多様な分野で活躍しています。それだけに、自分の才能や能力を発揮できる機会が多い職場です。その一方で、一人ひとりの業務は異なっていても、全員が「国民の安全と安心の確保という警察の責務を果たすためには何をすべきか」という確固たる使命感を有しており、組織としての一体感を感じることができます。

警察庁での勤務は、皆さんの期待を裏切ることなく、他の職場では経験できない誇りとやりがい、そして達成感を得ることができます。国民の安全と安心の確保を担う一員として、皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

若手職員Q&A

Q 入庁の決め手は？

総務課　係員　令和２年入庁

A 「警察組織の中枢機関」であり、警察行政に携わることができる点に魅力を感じ、入庁を決意しました。また、官庁訪問の際に対応してくださった先輩職員の方々が、担当している業務内容や他では味わうことのできないやりがいを熱く語ってくださったおかげで、「この組織の一員として働きたい」と強く感じました。

Q 職場の雰囲気は？

会計課　係員　令和２年入庁

A 入庁前は、「警察組織＝上下関係が厳しい」というイメージを持っていましたが、実際に入庁して働いてみると、上司や先輩は何でも相談に乗ってくれますし、他所属の先輩職員とも気さくに話すことができます。仕事だけでなく、プライベートなことについても親身になって聞いてくれるので、とても良い雰囲気の職場です。

また、ワークライフバランスが推奨されており、仕事もプライベートも充実させることができるのも良いところだと感じています。

Q 今の仕事の内容と苦労している点は？

国家公安委員会会務官付　係員　令和２年入庁

A 私は現在、国家公安委員会委員長に関する秘書業務や、国家公安委員会の準備、文書管理等の庶務業務を担当しています。

業務上、委員長や委員の方と接する機会もあり、緊張する場面が多々あるほか、委員長の予定が急に変更されることも多く、臨機応変な対応や一歩先を考えることが求められます。そんな毎日ですが、上司や先輩方からのサポートも受けながら、何とか落ち着いて対応することができています。

他所属とは異なる業務なので、最初は戸惑いや不安を感じることもありましたが、この職場にいるからこそできる貴重な経験も多く、やりがいを感じています。

Q 志望者へのメッセージ

国際テロリズム対策課　係員　平成31年入庁

A 警察庁事務官は、警察組織になくてはならない存在です。第一線の警察職員を縁の下の力持ちとして支えることで、国の治安維持に貢献しているという誇りと充実感を持って働くことができます。また、警察組織は、ワークライフバランスに関する制度等が整っており、公私ともに充実した生活を送ることができる職場です。

皆さんと共に警察組織の一員として仕事ができる日を心待ちにしています。

職員の一日

人事課　係員　平成29年入庁

8:30　出勤

通勤ラッシュの混雑回避のため、早出勤務制度を利用しており、通勤時間には好きな作家の本を読んでいます。出勤後は、まずメールを確認し、優先して対応する業務をリストアップすることで、効率的に仕事に取り組めるように工夫しています。

10:00　資料作成

人事異動に関する資料作成を行います。都道府県警察や他省庁に提供する重要な資料もあるため、担当者同士で読み合わせを行うなど、記載事項に誤りや漏れがないか入念に確認します。理解が不十分な点は調べたり、先輩に質問して準備した上で、上司の決裁を受けます。責任のある業務なので作成には時間を要しますが、適切に手続が完了したときには、大きなやりがいや達成感を得ることができます。

12:00　昼食

持参したお弁当を食べたり、庁舎内外に充実している食堂や弁当販売等を利用して同期と一緒に食べたりして、楽しい時間を過ごしています。午後からの仕事に備えて、１時間ゆっくりと休息をとります。

15:00　都道府県警察からの依頼への対応

人事異動が行われる際は、都道府県警察から資料提供の依頼があるため、作成した資料を送付します。複数の都道府県警察から一斉に依頼されるため、前日までにしっかりと準備を行い、当日速やかに送付できるように努めています。また、都道府県警察から問合せがあったときには、相手の意図を正確にくみ取り、丁寧に対応するよう意識しています。勉強不足故にすぐには答えられないこともありますが、上司や先輩に確認して、迅速かつ正確に対応するよう心掛けています。

18:30　退庁

業務は計画的に行い、執務時間内に処理できるように努めています。業務が集中する時期もありますが、定時退庁日等に早めに帰宅できたときには、趣味を楽しむなど自分の時間を大切にするようにしています。

休日の過ごし方

休日は、友人や同期とショッピングに出掛けたり、おいしいものを食べに行ったりして過ごしています。気になるお店や行ってみたい場所を見つけるなど、何か楽しみをつくることで、明日も頑張ろう、来週も頑張ろうという仕事へのモチベーションにつながっています。最近は、これまで経験したことがなかった「一人映画」にも挑戦し、楽しみの幅を広げています。

第3部

管区警察局
東京都・北海道警察情報通信部

管区警察局とは

警察庁の地方機関であり、警察庁と管区警察局の管轄区域内にある各府県警察本部との重要なパイプ役、調整役を果たしており、各府県警察の要請と全国又はその地域一体の警察運営の調整を図るなどしています。

全国には、６つの管区警察局（東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州）と１つの支局（四国）があり、管区警察局の附置機関として、管区警察学校があります。

東京都・北海道警察情報通信部とは

東京都警察情報通信部及び北海道警察情報通信部は、情報通信部門の地方機関のうち、管区警察局の管轄に属さずに警察庁が直轄する組織として置かれています。

なお、東京都及び北海道以外には、管区警察局の出先機関として府県情報通信部が置かれています。

これまでの経験を生かして

北海道警察情報通信部通信施設課　主任　平成30年入庁

私は現在、通信施設課の管理係において、職員の勤務時間の管理や出張に伴う旅費の支給計算等、庶務業務全般を担当しています。

昨年度まで所属していた通信庶務課においても旅費に関する業務を担当していました。その中でも旅費の予算要求については、過去の実績や今年度の執行状況等様々な要素を考慮して要求する必要があり苦労しましたが、上司や先輩に教えていただきながら無事に完遂することができました。現在の職場でも、こうした経験を生かしながら業務を進めることができています。

警察庁事務官の仕事は、現場で働く警察官や技官と異なり、直接警察活動を行うわけではありませんが、私たち事務官が警察官や技官を支えることで、その警察活動を円滑にし、国民の安全・安心を守る一助になっているのだと考えながら、毎日の業務に励んでいます。皆さんも私たちと一緒に、警察庁事務官として「人のためになる仕事」をしてみませんか。

人の役に立てる仕事

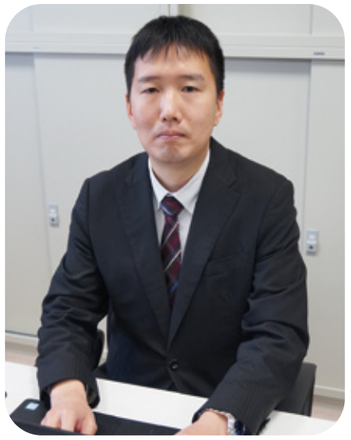
関東管区警察学校庶務部会計課　専門職　平成６年入庁

私は現在、会計課の管財営繕係において、施設の維持管理、それに伴う予算要求等の業務を担当しています。

数多くの施設や設備があることから、上司や部下と相談しつつ、時には事業者の知恵を借りながら、限られた予算内で少しでも良好な職場環境を維持できるよう努めています。また、設備の破損に対する応急処置や、施設の利用に支障をきたす樹木の枝の剪定等、自身が作業を行うこともあり、デスクワークばかりではない変化に富んだ毎日で、非常にやりがいを感じているところです。

入庁前は、単純な事務をこなしていく仕事と思っていましたが、様々な係で経験を積む中で、私たちの仕事は全て法令に基づいて行われていることを認識し、その法令の内容について学ぶことにより、自身の携わる業務の意義や重要性を知ることができました。また、同僚の事務官や警察官から相談を受けることもありますが、適切な解決策を提示することで多くの方の役に立てたと自負しており、充実した日々を過ごしています。

皆さんも是非、自分なりのやりがいを見つけながら、警察活動の一助になる仕事をしてみませんか。



大規模イベントを経験して

中部管区警察局総務監察・広域調整部警務課　主任　平成28年入庁

私がこれまで警察庁事務官として勤務してきた中で、特に印象に残っているのが、令和元年に従事したＧ20愛知・名古屋外務大臣会合の警備です。警察庁事務官である私の役割は、全国の警察組織から受領した資機材を、関係法令に従い適切に管理することでした。

Ｇ20ほどの大規模なイベントの警備となると、その準備期間中に、全国の警察組織から何千もの資機材が転送されてきます。それらを確実に受領し、適切に管理・運用するためには、資機材の転送計画の策定や運送業者との契約締結といった法令に定められた事務処理だけでなく、現場の警察官や技官とともに自らの手を動かして資機材を梱包し、手分けして運搬する必要がありました。

警察庁事務官の活躍の場は、事務所の中だけではありません。現場に赴き、汗水流して取り組んだ私の仕事は、現場を担う警察官や技官の方々にも認めていただくことができました。

警察組織では、警察官、技官、そして事務官が一丸となって、様々な業務に取り組んでいます。それぞれが果たす役割の違いはありますが、警察職員としての私たちの使命は一つです。皆さんも警察庁事務官として、誇りある仕事に挑戦してみませんか。

警察組織の支え手として

近畿管区警察局総務監察部警務課　主任　平成13年入庁

私は警務課において、ウェブサイトの管理・運用を担当しています。令和２年には、私の入庁年度に開設された当管区警察局のウェブサイトの全面改修にも携わりました。

改修に当たっては、まず、他の管区警察局にも助言を仰ぎつつ、掲載内容を決定しました。その後、各府県情報通信部や管区警察学校へ赴き、掲載する写真の撮影を行ったほか、管轄する府県警察と、ウェブサイトへの掲載許可のための交渉を行いました。技術面については、警察庁にも支援してもらい、あらゆる警察組織の協力を得て改修に取り組んだ結果、様々な情報を掲載したウェブサイトを完成させることができました。

警察庁事務官は、警察官とは異なり、表舞台に立つことはあまりありません。しかし、１つの管区警察局にとどまらず、警察庁や他の管区警察局、都道府県警察と、警察組織全体と連携した業務を行うことができます。国家公務員として、警察職員として、国民のために働けるこの職場に皆さんが来られることを楽しみにしています。

新庁舎移転に携わって

中国四国管区警察局岡山県情報通信部通信庶務課　主任　平成10年入庁

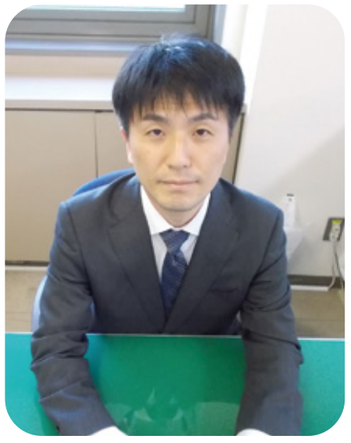
私は現在、岡山県情報通信部の通信庶務課で勤務しています。

職場は岡山県警察本部の建物の中にあるため、令和２年に新庁舎が完成した際には、その移転業務に携わることができました。私は、県警察の業務に必要となる各種通信システム機器の移設・更新、事務室の移転等に伴う物品の管理全般を担当しました。

新庁舎移転は、滅多に経験することができない大きなイベントであり、様々な困難やプレッシャーもありましたが、皆さんの期待がかかっている新庁舎でのスムーズな業務開始を目指して、職員が一丸となりそれぞれの役割を果たした結果、無事に移転を終えることができました。

警察庁事務官の仕事は、現場を支える裏方的なものですが、新庁舎移転の業務に携わることができたのは私の誇りであり、日々やりがいと達成感を感じながら勤務しています。

誰かの役に立ちたいという正義感溢れる皆さん、是非私たちと一緒に働いてみませんか。



警察活動を支える仕事

四国警察支局愛媛県情報通信部通信庶務課　係長　平成18年入庁

私は現在、愛媛県情報通信部の通信庶務課において、物品管理に関する業務に携わっています。

物品管理に関する業務とは、物品を常に良好な状態で管理し、目的に応じて最も効率的に運用することで警察活動を支える重要な業務の一つです。その物品の１つに、警察官が使用する警察用無線機があります。警察の無線機は警察活動の根幹を支えるものであり、これを良好な状態で運用することが国民の安全・安心につながります。

特に、行幸啓に伴う警衛や、外国要人等を迎えてのイベントに伴う警護の際には、その警備活動を支えるために、無線機を含む大量の物品を短期間で準備して、適切に運用しなければなりません。そのため、関係各所との連絡や日程調整を行い、計画どおりに行事が終了した際には、とても大きな充実感と達成感を得ることができます。

このように、警察庁事務官は、警察活動を支える重要な存在です。国民の安全・安心と日本の治安維持のため、皆さんも是非一緒に働いてみませんか。

近畿管区警察局　昭和60年入庁
大阪府情報通信部 通信庶務課長
辰己　博司　Tatsumi Hiroshi

安全・安心を陰で支える仕事

私は現在、大阪府情報通信部の通信庶務課長として勤務しています。

大阪府情報通信部は、日々の事件・事故及び災害等に迅速に対応し、府民の安全・安心を守る大阪府警察の第一線での警察活動を情報通信の面から支える組織です。

その中でも警察庁事務官が多数在籍する通信庶務課の業務は、情報通信関係予算の管理と執行、各種契約、物品管理、職員の教養、給与の支給、福利厚生及び健康管理等多岐にわたっています。警察官のように第一線で活躍することはありませんが、デスクワークを通して安全・安心を陰で支える仕事に、達成感や充実感を得られています。

近年、「働き方改革」、「ワークライフバランス」、「業務の効率化」、「男性の育児参加」等が提言される中で、通信庶務課長として人事管理及び業務管理を推進し、大阪府情報通信部の全職員が生き生きとして仕事ができるよう風通しのよい職場環境づくりに努めるとともに、大阪府情報通信部の筆頭課長として、大阪府警察本部で開催される幹部会議で、組織の活動状況や情報通信システムの整備状況等を報告し、警察本部との連携も図っています。

私は今まで、警察庁本庁での勤務のほか、香川、奈良及び岡山の各県で通信庶務課長として勤務しましたが、それぞれの経験が現在の私を支える貴重な財産となっています。

これからの人生、安全・安心を陰で支える仕事として、警察庁事務官を志してみませんか。

四国警察支局　平成９年入庁
会計課長
庄司　元幸　Shouji Motoyuki

安全・安心な社会の実現へ

私は現在、中国四国管区警察局四国警察支局会計課で勤務しています。

官民問わず、組織活動は、目標を設定して、人、物、金、情報といった経営資源を駆使して活動を展開することになりますが、「会計」という切り口で組織活動を見ると、行政と民間の決定的な違いがあります。それは、主要な経営資源である資金の獲得が、会計課という１つの部署の仕事であるということです。

民間企業では、設立資金は別として日々の営業活動によって資金を獲得しますが、行政機関では、会計課が主体となって必要資金としての「予算」を財務省に要求します。その後、獲得した予算をもとに、警察施設を建設したり、現場の警察活動に必要な資機材を整備したりします。私自身、警察学校での勤務の際に新寮の建設を担当し、いくつもの課題を乗り越えて寮を完成させたときには、会計業務の壮大さと達成感を味わうことができました。

一方で、会計業務ですので、正確に金額の計算を行い、無駄遣いのないように経済性を追求することも大切です。特に、私たち警察組織は、国民の付託に応えるべく不正を正す存在でなければなりません。国民の税金から成る予算を無駄なく、正しく使うことが組織の健全性を保つことになり、国民の信頼を得ることにつながります。

このように、警察組織の会計業務は、強い使命感をもって警察活動を支え、国民の安全･安心を実現できる業務です。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

若手職員Q&A

東北管区警察局青森県情報通信部通信庶務課　係員
平成31年入庁

Q 入庁の決め手は？

A 進路を決めるに当たって、国民の役に立つ仕事がしたいと考えていました。その際、東日本大震災時に警察情報通信職員が活躍したことや、日頃の警察活動を支える情報通信部の仕事内容を知り、警察庁事務官という立場で国民の安全・安心に寄与できることに魅力を感じ、入庁を決めました。

Q 職場の雰囲気は？

A 現在の職場は、上司に気軽に相談できる風通しの良い雰囲気です。もちろん挨拶等の礼儀は社会人として必要なマナーですので気を付けていますが、休み時間等には、雑談で大いに盛り上がります。そして、この職場の一番の強みといえるのが、「やるときはやる、休むときは休む」というメリハリがあるところです。休暇も取得しやすいため、プライベートも充実させることができます。

九州管区警察局長崎県情報通信部通信庶務課　係員
令和２年入庁

Q 今の仕事の内容と苦労している点は？

A 経理係と資材係を兼務しています。経理係では、職員の出張旅費や事務用品、電気代等職務に関わる様々なものの支払いに関する業務を行っています。資材係では、無線機等警察活動に使用する物品の管理を行っており、どちらも正確さを求められる仕事です。今年度から経理係を兼務し、見慣れない書類を取り扱ったり根拠となる法令が分からなかったりと戸惑うことも多いですが、上司や先輩方に丁寧に指導していただきながら、日々業務に取り組んでいます。

Q 志望者へのメッセージ

A 警察庁事務官は、国民の安全・安心を守る警察組織の一員として、事務の面から組織全体を支え、社会の治安維持に貢献することができる仕事です。どの職員もこの仕事に誇りや使命感を持って業務を行っています。また、福利厚生も充実しており、ライフスタイルに合わせて働き続けることができ、公私とも充実した日々を過ごすことができる職場です。同じ志を持ちながら、皆さんと一緒に働くことができる日を楽しみにしています。

職員の一日

関東管区警察局総務監察部警務課　係員
平成31年入庁

9:00　出勤
早出勤務制度を利用し、午前８時から勤務開始としています。早い時間の出勤となるため、電車が空いている時間に通勤することができます。通勤中は好きな音楽を聴きながら、リラックスするようにしています。職場に着いた後はメールやスケジュールを確認し、その日に行う業務の流れをイメージすることで、仕事に向けて気分を切り替えます。

10:30　業務説明会
私の所属する人事係では、採用業務の一環として、Web 会議ツールを用いたオンライン業務説明会を実施しています。私の役割は、若手職員として学生と近い立場から、入庁後の働き方や研修制度について説明することです。説明会の参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう、これまでに特に印象に残った業務や警察組織ならではの経験を中心に話をしています。オンラインでの実施のため、全国各地の参加者と接することができ、責任とやりがいを感じています。

12:00
昼食

14:00　データ管理
人事係では、職員のこれまでの勤務歴や研修歴等、様々なデータを保管しています。これらのデータは様々な業務に活用されるため、ミスがあると他の業務に影響が出てしまいます。自分の職場だけでなく、警察庁、他の管区警察局や各県警察等の他機関の職員とも連絡を取り合い、正確なデータの管理に努めています。業務に関して困ったことやその改善案があれば上司に相談し、話し合いながら仕事の進め方について考えています。

15:45　退庁
早出勤務のため、その分早い時間に退庁することができます。時期によっては残業することもありますが、業務の分担・効率化を図り、なるべく残業をしないようにしています。退庁後は、職場近くの商業施設でショッピングや映画を楽しんだり、食材を選んで自炊したりしています。

休日の過ごし方

休日は友人と一緒に食事に行くことが多いです。一人のときは散歩も兼ねて、神社やショッピングセンター等、目的地を決めて歩いています。家で過ごすときには、研修のときから仲良くしている同期とオンラインで集まって話をすることもあります。同期とお互いの近況について語り合うことで、自分も頑張ろうと思うようになります。

特集 ワークライフバランス

男性職員から

東京都警察情報通信部通信庶務課　係長
平成24年入庁

現在私は、東京都警察情報通信部の資材第二係長として、物品の調達に関する業務を担当しています。

妻の妊娠が分かったとき、私は警察庁の通信施設課で課員の福利厚生に関する業務を担当しており、仕事と育児の両立のための支援制度を周知したり、制度活用を課員へ働き掛ける業務を行っていました。そのため、様々な支援制度があることは理解していましたが、いざ自分が制度を使う立場になると、日々の業務に追われる中で本当に制度を活用できるだろうかと不安になりました。

しかし、そうした不安は杞憂に終わりました。妻の妊娠を上司へ相談したところ、妻の体調や通院の予定に合わせて柔軟に休暇を認めていただくなど、初めての出産に対して夫婦で協力して臨む環境を整えていただきました。妻の出産前には、より休暇を取得しやすい勤務体制にしていただき、「配偶者出産休暇」により妻の出産へ立ち会うことができましたし、退院直後に「育児参加のための休暇」を取得することもできました。

その後、現在の職場である東京都警察情報通信部へ異動となりましたが、異動後も業務量が過重とならないよう配慮していただき、仕事と育児を両立しながら毎日を過ごすことができています。

このように、警察庁では、組織として育児中の職員を支援する体制が整っています。国民の安心・安全を守るやりがいのある仕事と、出産・育児という大きなライフイベントを両立できる職場です。皆さんも是非、一緒に働いてみませんか。

タイムスケジュール

5:20	起床、朝食、出勤準備
5:50	出勤
7:50	登庁
18:15	退庁
20:00	帰宅、子供とお風呂
20:25	夕食、家事
21:15	子供との自由時間
21:45	子供の歯磨き、オムツ替え
22:00	子供の寝かしつけ
23:00	就寝

女性職員から

犯罪鑑識官付　主任
平成20年入庁

私は現在、犯罪鑑識官の指紋部門で、職員の勤務時間管理や旅費支給等に関する業務を担当しています。

今の職場には、保育園の送迎のために勤務時間を短縮したり、早出遅出勤務制度を利用して夫婦で送迎を分担するなど、勤務時間を柔軟に変更して仕事と育児の両立をしている職員がたくさんいます。私自身も、小学生の２人の子供を送り出すため、遅出勤務制度を利用して出勤時間を遅くしており、家族で朝食を食べながら学校での出来事や休日の予定について話したり、登校を見守ることができています。朝の時間を子供と一緒に活発に過ごすことは、仕事の活力にもつながっています。

子供の体調不良や行事のために休まなければならないこともありますが、周囲の理解もあり、予め業務分担を調整の上、その進捗状況を担当者間で共有しておくことで、突発で休まなければならなくなったとしても、対応することができます。積極的に休暇を取得するよう上司からの声掛けもあるなど、制度はもちろんのこと、職場の協力体制もしっかりと確立されています。

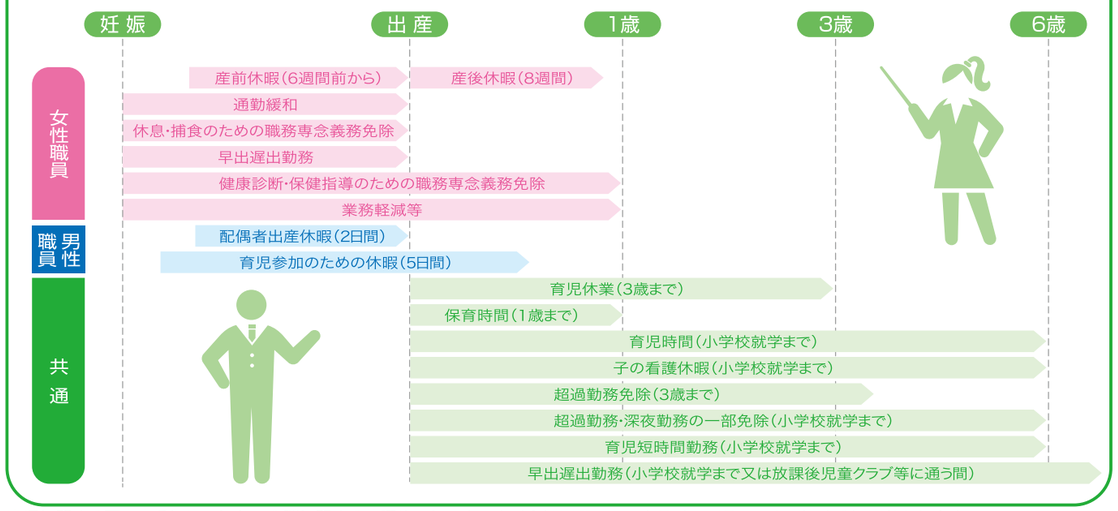
また、学校行事の予定を前もって上司や先輩に報告しておくことと、スムーズに休暇を取得できるとともに、子育てに関する情報交換のきっかけにもなります。先輩方の育児に関する知恵や仕事との両立に関するアドバイスには、何度も助けられました。

警察庁では、職場全体が仕事と育児の両立を後押ししてくれているので、子育てをしながら活躍している女性職員がたくさんいます。不安なことは、経験者の私たちと一緒に解決していきましょう。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

タイムスケジュール

6:00	起床、朝食準備、出勤準備
6:30	子供起床、登校準備
6:45	朝食
7:20	登校見送り、出勤
9:00	登庁
	（17:00　子供は祖母と夕食、お風呂）
18:00	退庁
19:40	帰宅、宿題・授業準備確認、子供との自由時間
21:00	子供就寝、学校からのプリントチェック、家事
23:00	就寝

仕事と育児の両立のための支援制度



育児に関する両立支援制度のほか、介護に関する休暇やフレックスタイム制度等、ワークライフバランスを推進する制度があります。

勤務地等についてのQ&A

勤務地について教えてください。

［警察庁本庁採用者］

警察庁内の各局部や附属機関に配属となるため、主に東京都内での勤務となりますが、地方機関等で勤務する場合もあります。

［各管区警察局等採用者］

管区警察局又は警察支局で採用された場合はそれぞれの本局及びその管轄区域内の府県で、東京都警察情報通信部又は北海道警察情報通信部で採用された場合はそれぞれの採用地での勤務となりますが、警察庁等で勤務する場合もあります。

研修制度について教えてください。

業務の「戦力」としての活躍が期待されているため、採用直後に新任研修を受けるほか、昇任の都度、必要な研修を受けるなど、系統的に能力の向上が図られています。また、情報通信部門等の各分野において必要な研修、教養を受ける機会も用意されています。

休暇制度はどのようなものですか？

年間20日間（採用年は15日間）の年次休暇のほか、３日間の夏季休暇があります。結婚休暇等の制度もあり、いずれも有給休暇となっています。

仕事と子育てを両立するための制度にはどのようなものがありますか？

育児休業のほか、産前休暇・産後休暇、配偶者出産休暇、育児参加のための休暇、育児短時間勤務、早出遅出勤務、子の看護休暇等の制度が整っています。

福利厚生はどうなっていますか？

共済組合制度があり、各種保険、短・長期給付事業等、職員が安心して快適に職務に専念できるよう福利厚生の充実を図っています。また、各種契約施設を割引で利用することができます。